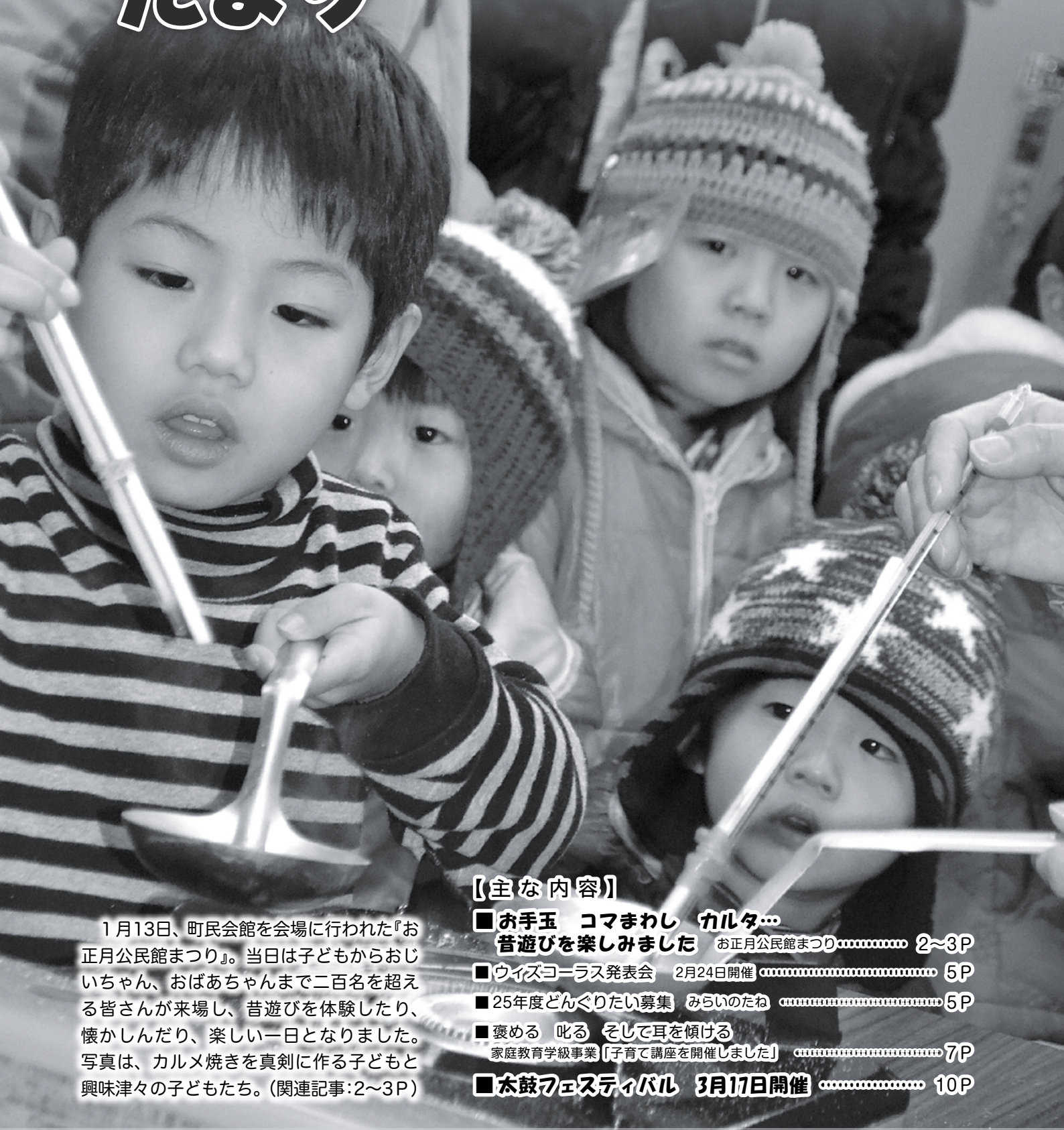


社会教育 だより

SEIRO Syakai Kyouiku dayori



1月13日、町民会館を会場に行われた『お正月公民館まつり』。当日は子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで二百名を超える皆さんが来場し、昔遊びを体験したり、懐かしんだり、楽しい一日となりました。写真は、カルメ焼きを真剣に作る子どもと興味津々の子どもたち。(関連記事:2~3P)

【主な内容】

- お手玉 コマまわし カルタ...
昔遊びを楽しみました お正月公民館まつり..... 2~3P
- ウイズコーラス発表会 2月24日開催 5P
- 25年度どんぐりたい募集 みらいのたね 5P
- 褒める 叱る そして耳を傾ける
家庭教育学級事業「子育て講座を開催しました」 7P
- 太鼓フェスティバル 3月17日開催 10P

2月

町民会館休館日 4日、12日、18日、25日
トレーニングルーム休館日 4日、12日、18日、25日
図書館休館日 4日、12日、18日、25日、28日

町民会館のホームページ <http://www.kaikan.seirou.niigata.jp>
メールアドレス info@kaikan.seirou.niigata.jp

ストップ・ザ・いじめ
~やめよういじめ 許さないじめ~
いじめ根絶にいがた県民会議
※聖籠町はこの運動に協力しています

社会教育だよりは、資源保護のため
再生紙を使用しています。

お手玉 コマまわし カルタ：

昔遊びを楽しみました

お正月公民館まつり

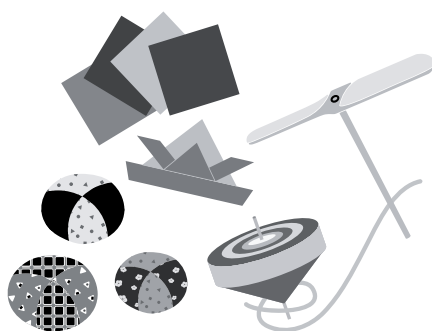


1月13日、町民会館を会場に恒例の『お正月公民館まつり』が開催されました。

この催しは、家庭や地域でふれる機会が少なくなった餅つきや昔遊びを大人と子どもがふれあいながら一緒に楽しんでもらうために毎年開催されているものです。

町民会館に一步足を踏み入ると昔ながらの長屋が再現され、お笑い神社や鳥居、だんご木が飾られ、昔ながらの街並みと雰囲気をもし出しています。

当日は子どもからお爺ちゃん、お婆ちゃんまで200名を超える皆さんが来場し、コマまわし、お手玉、かるたなどの昔遊びを体験したり、昔食べた駄菓子やカルメ焼き作りを懐かしんだりして、楽しい一日を過ごしました。



👑 当日の催し 👑



駄菓子屋
おみくじ
カルメ焼き体験
綿菓子作り
小物創作
射的
コマまわし
はねつき
餅つき大会
だんご木体験
コマ作り・ドングリ創作
折り紙
お手玉
福笑い
かるた
紙しばい
蓮湯神楽
雑煮配布
大かるた大会
富くじ抽選会



長屋とその周辺では、昔懐かしいお菓子が並ぶ駄菓子屋や、重曹と砂糖、卵白で作る甘くいカルメ焼き、コマやどんぐりを使った創作体験、コマまわし大会、餅つき、大かるた大会など一日では遊びきれないほどのイベントが行われました。

カルメ焼きコーナーでは、大人に教えてもらいながら火を使って、初めて見る、初めて味わう自作のカルメ焼きを楽しみました。どんぐりを使った創作体験では、友だちの顔やトトロ、カブトムシなど、子どもたちの独創的なアイデアで様々な作品が生まれていました。

他にも、自分たちでついた餅で雑煮を食べたり、綿菓子を作ったり、お手玉を作ったり、メンコ遊びをしたり、多くの昔遊びを体験しました。

今年の企画として、文化会館内に射的場がオープンしました。射的は得点が高いほど当たりにくく、高得点の的をねらい、悲喜こもももの声があがっていました。

午後からは、聖籠弁を語り継ぎたいという想いから、昨年からの聖籠弁によるかるた大会を行っています。大会は、園児から小学生まで約百名が東西に分かれ、読み手の聖籠弁に戸惑いながらも熱戦を繰り広げました。まず、読み手がかるたを読み上げると笛の合図でスタート。全力で走りだし、かるたを目指し滑り込

みます。答えのかるたを見つけたら『あつた』とつた』という声が響きました。結果は西軍が勝利し、大きな歓声が上がっていました。

最後は富くじ抽選会です。抽選で当たった参加者はおもちゃがもらえ、当選者の名前が呼ばれるたびにどよめきや、ため息、そして、はしゃぐ子どもたち。その姿が、何となく昔の無邪気な子どもたちのように目に映りました。



施設見学で

NHKに行ってきました

12月13日にNHKを見学してきました。テレビは毎日目にする身近な存在ですが、その裏側はあまり知りませんでした。撮影スタジオの様子やセットの作り、多くのカメラやライト、初めて目にする光景にみなさん興味津々でした。

本番で使われるセットでアナウンサー体験をしました。少し緊張しながら原稿を読みました。



スタジオは想像していたより小さく、テレビで見ていたものと違い驚きました。

クリスマス絵手紙&リース作りの巻



気楽にいつでも遊びたい



社会教育課事業
三小学校児童対象

週末体験クラブ

昨年の年末に、町の文化団体である絵手紙サークル優遊会の皆さんに絵の構図や色の使い方、アドバイスをいただきながら、見る人のこころをハッピーにしたい。もうクリスマスカード絵手紙のリース作りをたのしみました。
そして「絵本の挿し絵のような夢ある絵手紙作品を世に紹介せねば！」と事務局をうならせてしまったキッズ画家たちなのでした。

2月の冒険(よてい)

受付中

▲ 2日
子ども会議
遊び発見!

▲ 9日
太陽系を創る
宇宙は広い

16日
春をさがそうバスの旅
サイエンスツアー
・定員40人
定員となり次第締め切らせていただきます
・参加費300円

23日
国際雪上サッカー
フェスタに挑戦!
参加無料
午後 13:30~
終了 16:00

▲マークは参加無料・定員なしで9:30~11:30実施会場は町民会館です

つなひきにいいい
■お問合せ申し込みは町民会館 ☎27-2121 担当/松井・高松までお願いします。

たこあげ体験

in 聖籠緑地



緑地で遊ぼう！

お友達と一緒に、インベーター凧やダイヤ凧を作って、緑地であげてみませんか？
作り方はとっても簡単！

日時 2月10日(日) 10:00~16:00

好きな時間にどうぞ

会場 聖籠緑地 管理事務所

参加費 200円

申込み 不要 直接会場にお越しください。



※材料がなくなり次第、終了となりますので、ご了承ください。

問合せ 島見聖籠緑地 TEL 025-255-3202



主催 公園管理者 グリーン産業株

第22回

ウィズコーラス発表会

近隣の市町のコーラスグループ同士がみんなで「一諸に歌い、学びあい、コーラスを楽しみましょう」を



合言葉に発足してから、今年で第22回を迎えることができました。これからもコーラスの輪がどんどん広がることを願っています。皆様のお越しをお待ちしております。

◎日時 平成25年2月24日(日)
午後1時30分~(午後1時開場)

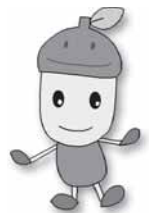
◎会場 聖籠町文化会館

◎出演団体 コーラスとようら、紫雲寺合唱団、コーラス聖籠の杜、せいろう少年少女合唱団、コール・アール、早通お母さんコーラス、新津市民合唱団

◎入場料 無料(全席自由)

せいろう共育ひろば 미래のたね 平成25年 どんぐりたい 募集

(聖籠中学校地域交流棟管理+学校支援ボランティア)



説明会

とき：平成25年 2月28日(木) 午後 1:30~3:00

ところ：聖籠中学校 地域交流棟町民ホームベース

内容：1部 1:30~ どんぐりたい活動説明

2部 2:00~ どんぐりたい経験者と語り合おう!

コーヒーを飲みながら気軽にしゃべり場!!

<どんぐりたい活動内容>

- 地域交流棟の管理(清掃、来校者受付、鍵の管理など)
- 未来のたね(学校支援ボランティア)
- 生徒とのふれあい
- 自分がやりたいこと何でも、自由に

<条件>

- 年齢、性別は問いません
- 趣味、特技は必要ありません
- 施設管理の仕事に対して少々の報酬がでます
- 1回4時間
(回数はそれぞれの都合に合わせて調整します)
(午前 8時30分~午後12時30分)
(午後12時15分~午後 4時15分)

★ 説明会のお問い合わせは、聖籠中学校 地域交流棟 町民ホームベースまで ★

TEL 0254-27-7085 (月~金 8:30~16:15)

褒める叱るそして耳を傾ける 「子育て講座」を開催しました

家庭教育学級事業

この事業は、家庭教育事業の一環で、四月に各小・中学校に入学される児童、生徒の保護者の方々を対象に毎年開催している事業です。

今年度も平成24年10月から12月まで、町内三小学校と中学校で四回開催されました。その内容を、紹介します。

今回は、新潟県立大学の石本勝見教授から「子どもの理解と親のかかわりについて」と題して、前社会教育事務所勤務で現在は胎内市立築地小学校の宮本均校長からは「親子の絆を考える」と題して、講演をいただきました。

石本教授からは、これまでのたくさんの子どもたちのかかわりの中から具体的な体験談を通した、ユーモアあふれるお話を語っていただきました。



子育ての基本は褒めると叱ることです。ああしなさい、こうしなさいというのではなく、やったことに対して褒めてあげてください。今出来ていることを「いいねえ」「いいよ」「明日も続けてね」と笑顔で言ってあげてください。叱ってばかりいては、心には響きませんよ。まずは子どもにこういうふうになってほしいと示していくことが大切です。「子どもは親の言ったとおりにはしないけど、親の行動を真似しています。」



日常の親の凄さ、親の力を見せてあげてください。」とのことでした。また、宮本先生からは、最初にゲームをしながらのコミュニケーションづくりから始まり、なごやかに講演が進みました。

まずは親と子で、日頃から手を繋ぎ、愛情を言葉で表してください。「あなたが大切よ」「あなたはかわいいよ」と。心の絆を深めるためには、子どもの声に常に耳を傾けることです。と、具体的に分かりやすいお話をいただきました。



四会場とも講演時間は一時間という短い時間ではありましたが、参加者のみなさんにとって日頃の子育てについて参考になることも多かったと思います。



【聖籠町文化芸術による創造のまち】応援団

みんなで歌おう会 vol.2



世界の歌を歌おう!



いよいよ本番の日程が決定しました。

その日のために月一回の練習日には、ぜひ参加しましょう

11月24日(日) 午後2時~聖籠町文化会館

昨年は4月に日本(さくら)を出発…韓国(アリラン)…インドネシア(かわいいあの娘)…ロシア(ともしび他)…イギリス(ピクニック他)…チェコ(おお牧場はみどり)…ポーランド(ドナドナ)…スイス(オ!ブレネリ)…イタリア(サンタ ルチア)…フランス(星かげさやかに)…ドイツ(ローレライ)など10か国を巡りました。

そして今年はハワイからアメリカ大国へ…

どこかで聴いたことのある懐かしいメロディ…それは日本の曲ではない?あの国の歌だったんだ!という新発見もありましたね!



歌うことで元気に!をモットーに今年も町いっばいに歌声を響かせましょう。

これから参加される方も大歓迎です。ぜひいっしょに歌いましょう。



平成24年4月~12月練習の様子



いつからでも参加できますので、ぜひ一緒に歌ってみませんか!(申し込み用紙は町民会館にあります)

次回は25年2月23日(土)

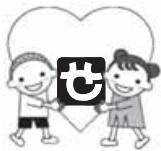
お子さんを連れて一緒に歌いましょう♪

- ①10:00~11:30 小ホール
- ②13:00~14:30 第2・3会議室
- ③19:30~21:00 小ホール

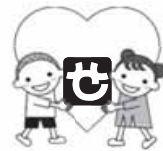
主催 みんなで歌おう会実行委員会
聖籠町教育委員会

お問い合わせ
聖籠町町民会館 社会教育課 社会教育係
Tel : 0254-27-2121
Fax : 0254-27-7976





学校支援地域本部事業



ひろがる ふれあい みつける よろこび

亀小 サポート活動の様子

12/14 6年生社会科「戦争体験について」の授業に宮下トヨミさんと山田敏夫さんに来ていただき、当時の生活や学校の様子をお話してもらいました。

宮下さんからは、空襲の知らせを受けたら、家の敷地内に作ってある防空壕で身を守っていた話、衣料切符を実際に使っていた話、ラジオで昭和天皇から終戦の知らせを聞いた時の心境などを語っていただきました。

戦時中小学校1年生だった山田さんからは、当時の遊びや食べ物についての話をしていただきました。麦やだいこんやさつまいもいりが日常の米飯で、学校の昼食時には山田さんも含めてほとんどの子どもがおかずのない弁当が恥ずかしく手で隠しながら食べていたそうです。稲刈り後にでる藁くずを入れたふとんを使っていた話では、昨年米作りを体験し藁くずがどんなものかを知っていたこともあり、藁のくずも大切に利用していた物資がない時代の地元の人たちの生活の知恵に、児童は感心して聞いている様子でした。

実際に戦時中を生きていたお二人からの体験談は、児童にとっては教科書では学べない胸に響く忘れられない話を聞くことができた授業になったのではないかと感じました。



書初め

12/3～14の2週間の間に、3年～6年で各クラス2回づつ、深井一成さん・深井伊子さん・宮澤たかこさん（麗水先生）の3人に授業サポートしていただき、ありがとうございました。



5年生の授業では、深井さんにならい、字を書く前の心構えとして、座禅から始めました。



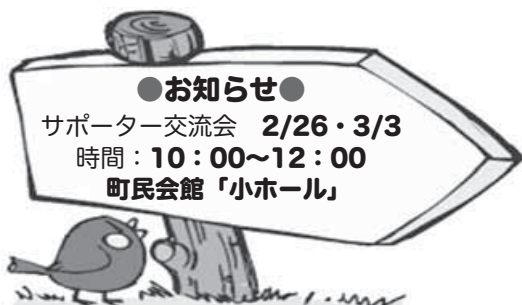
麗水先生からは、丁寧に児童の手をとって指導していただきました。



「字のポイントを指導」



「児童の側で書きながらアドバイス」



●お知らせ●

サポーター交流会 2/26・3/3
時間：10:00～12:00
町民会館「小ホール」



昨年の交流会の様子



子どもさんを預かります

問い合わせ：聖籠町学校支援地域本部（聖籠町町民会館・社会教育課内）
☎27-2121

地域コーディネーター：新保利文・阿部誠衛・佐久間千都・渡邊彩・大倉幸子

太鼓

フェスティバル

in SEIRO
vol.6

■特別ゲスト 太鼓芸能集団 鼓童

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見いだし、現代への再創造を試み、佐渡を基点に国内外で精力的な活動をしている。毎年夏には佐渡で国際芸術祭「アース・セレブレーション」を開催。響sato-otoとは発定時より交流をもち、第一回目よりゲストとして公演に参加している。



船橋 裕一郎(鼓童) 小田 洋介(鼓童)

■ゲスト



山岸さんさ踊り保存会(雄町市)

聖籠太鼓「響sato-oto」

平成12年春から聖籠町で活動開始。メンバーは聖籠町、新発田市、新潟市など広域の人たちで構成。曲から舞台づくりまで自主活動をしている。名前の響sato-otoは、「響」という文字を上下に分け、「郷に伝わる音」「郷に伝える音」ということからイメージ。平成15年より聖籠太鼓「響sato-oto」太鼓フェスティバルを隔年で開催。

平成25年

3/17 (日)

■開演/午後1時30分
(開場/午後1時)

◆チケット(全席自由): 1,000円(当日1,200円)

◆プレイガイド: 聖籠町町民会館、聖籠観音の湯さぶ〜ん、新発田市民文化会館内 紫音、胎内市産業文化会館

◆チケット発売日: 平成24年12月20日(木)

◆お問い合わせ: 聖籠町町民会館 TEL 0254-27-2121

✉ satooto@van-rai.net ※メールにてチケット受け付けいたします。

チケットをお買い求めの際のご注意

※お買い上げ頂いたチケットのキャンセル・変更はできません。
※未就学児の入場はご遠慮ください。小学生以上はチケットが必要となります。
※許可された場合以外の録音・撮影は固くお断りいたします。

■主催: 聖籠太鼓「響sato-oto」、聖籠町公民館 ■後援: 聖籠町商工会、聖籠町観光協会
■協賛: 聖籠観音の湯さぶ〜ん、(株)浅野太鼓、鼓童 IN SHIBATA実行委員会

聖籠太鼓「響sato-oto」 <http://www.van-rai.net/satooto/>

■会場 聖籠町文化会館

〒957-0117 北蒲原郡聖籠町大字圓訪山1280番地



緊急告知!!

聖籠町・新発田市在住の外国人の皆さん
参加して下さい

参加費無料!

国際雪上サッカーフェスタ

JAPANサッカーカレッジでは、聖籠町と新発田市に在住する外国人の方々との交流イベントを計画しました。

内容は、第一部が新潟の寒い冬の楽しみかたということで、雪上サッカーを行います。雪の量はどのくらいになるか分かりませんが、思いっきりボールを追いかけて、爽やかな汗をかくことは間違いありません。

第二部は、日本の伝統文化「もちつき」を体験してもらい、暖かいおしるこをみんなで食べたいと思っています。

言葉が通じなくても、みんな一緒にサッカーで汗をかき、美味しいおしるこを食べたり…。必ず心と心が通じ合い、楽しい一日になると思います。

寒い冬ですが、ちょっと外に出てみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

Attention please!

Hi, foreigners living in SEIRO town and SHIBATA city! Come on join us!

For Free!

INTERNATIONAL SOCCER FESTA IN THE SNOW

JAPAN SOCCER COLLEGE planed an exchange event with foreigners who live in SEIRO town and SHIBATA city.

1) We play soccer in the snow.

2) We do "Mochitsuki" and eat with sweet red-bean soup "Oshiruko" after playing soccer.

*Mochitsuki Japanese traditional event. We pound rice cakes and eat them.

We know it's cold outside , but get fun with snow !!

We are looking forward to your participation!!!



Let's play soccer in the snow!

と き : 2013年2月23日(土)
13:30~16:00 (12:30受付開始)

と ころ : スポアイランド聖籠

ないよう : 雪上サッカー・もちつき大会

もちもの : 動きやすい服装 (サッカーをします)
着替え (雪で濡れたときのため)
飲みもの

申し込み方法 (E-mail)

あて先 ▶ cups_2013@yahoo.co.jp

- ① 参加する人の名前
- ② 年齢
- ③ 国籍
- ④ 住所
- ⑤ 電話番号

を書いて送ってください!

申し込み締め切り ▶ 2月16日(土)

Time : 23rd February (Sat.)
1:30p.m. ~ 4:00p.m.

(12:30 start accepting applicants)

Place : Spo island SEIRO
Multidiscipline exercise space

Contents : Playing soccer in the snow
Pounding rice cakes and eat them

Needed : *Clothes you can move comfortable

*Change of clothes

*Drink

Applications (E-mail)

To. ▶ cups_2013@yahoo.co.jp

- ① The name of participants
- ② Age
- ③ Nationality
- ④ Address
- ⑤ Telephone Number

Please write these information and Send E-mail to the above address.

The deadline of applications ▶ 16th February (Sat.)



主催 : JAPANサッカーカレッジ

〒957-0103

新潟県北蒲原郡聖籠町網代浜925-1

TEL.0254-32-5357 / FAX.0254-32-5358

共催 : 聖籠町教育委員会

Sponsor : College of Upward Players in Soccer
925-1 Ajirohama , Seiro-machi , Kitakanbara-gun , Niigata , # 957-0103
TEL.0254-32-5357 / FAX.0254-32-5358

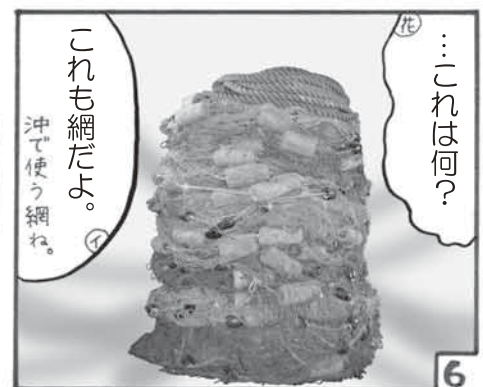
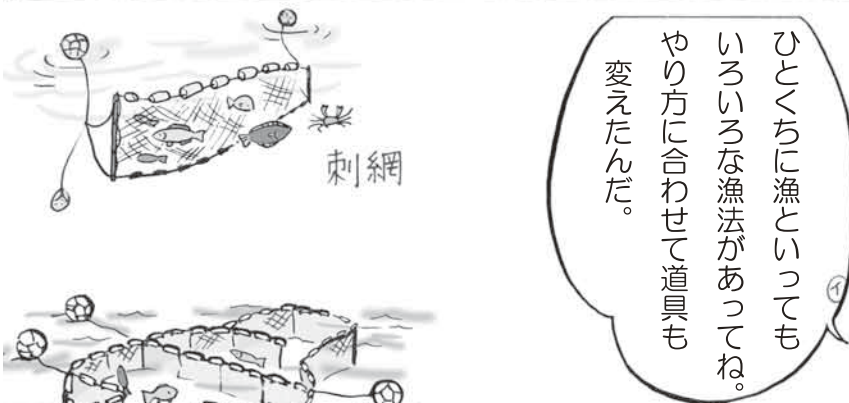
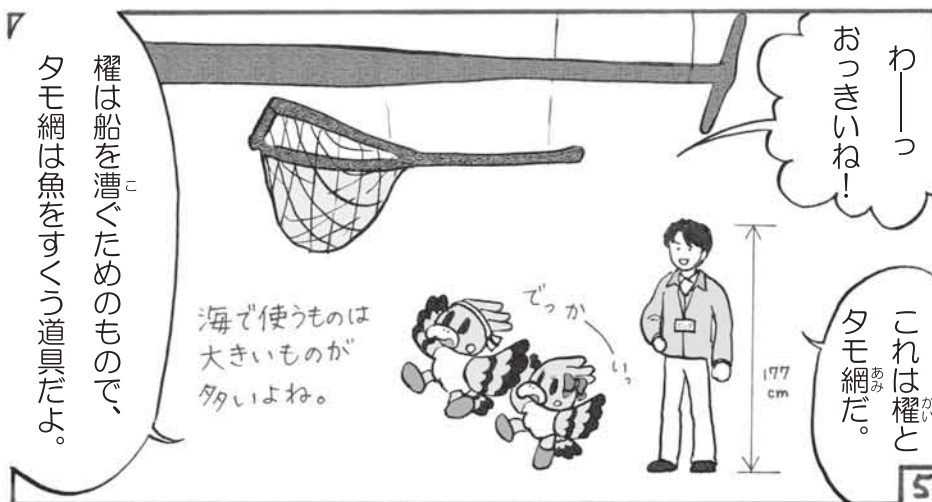
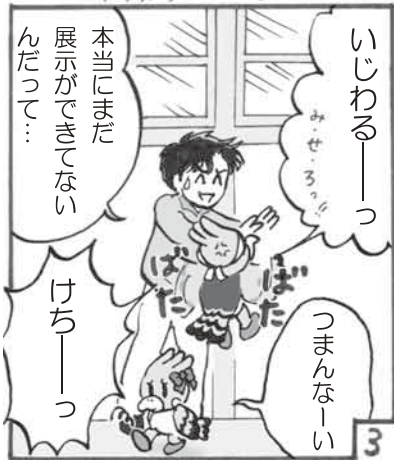
Cosponsor : The board of education of Seiro-machi



作/高橋明公子

教えて
イシダさん!!

民具からみる 聖籠の歴史 10



なんで
いろいろ
あるの?

- このほかにも...
- ・釣り
 - ・銚子などで刺す
 - ・すくう
 - ・地曳網 などなど



海や川の生き物は、いろんな種類がいて、それぞれ棲むところが違うでしょ？ だからその生き物に合わせた獲り方をするんだ。

これから民俗資料館に、こんな魚たちも飾るよ。

え!? 手作りの!?
そうだよ。

職員が廃材を利用して作ったんだ。みんなが楽しめてわかりやすいように工夫してるんだよ。



さて、漁業の話に戻ろう。漁師さんはみんな男の人たちだよ。海での漁は命懸けで過酷な仕事だ。

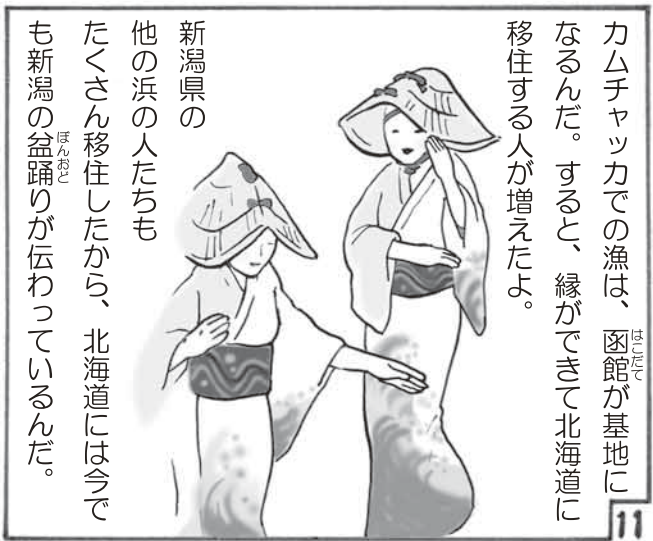
漁師さんが獲ってきた魚は、浜辺で待っていた女の人たちが、走って新発田や豊浦・菅谷まで売りに行ったそうだよ。

いさは" せいふ。
鮮度が命。

自転車やバイクも使うようになる。

親のお母さんたちはとても働き者。お父さんたちが漁に出ているときは、田や畑の仕事をやる。

板子一枚 下は地獄



カムチャッカでの漁は、函館が基地になるんだ。すると、縁ができて北海道に移住する人が増えたよ。

新潟県の他の浜の人たちもたくさん移住したから、北海道には今でも新潟の盆踊りが伝わっているんだ。



漁村のくらしは海の影響を大きく受けるから、常に不安定だったんだ。そこで、北洋（カムチャッカ）に出稼ぎに出る漁師さんたちも多かったよ。



それから、浜の人たちは大自然に対して畏れ敬い、感謝して、信仰心も篤いよ。神様をとても大事にしていたんだ。



次第次日枝神社



舟玉(船霊)さま
ふなだま



亀塚浜神明・諏訪社



エビスさま

もちろんうまね。



すべては海のおかげ

民具からいろいろなことがわかるのね。

道具は時代を映す鏡だね。



今月の短歌

※聖籠町短歌会の作品（平成二十四年十二月）を紹介しします。

眼に良いと八つ目鰻を蒲焼に効き目やいかにまだあらわれず
 日の暮るる街の忙しき群にあり居酒屋目指し我は解けゆく
 耳遠くなりて寂しくなりにけり良きことだけでも聞きたいものを
 丸山の遺跡の丘にどんぐりを拾う親子のありて今昔
 撮影は許さずといふ土偶なる「縄文の女神」しかと脳裡に
 六十五歳定年となりまず感謝家族の支え日々々に受け来ぬ
 冷え嫌ふ甘薯を囲ふ頃となり厨へ上げて共に冬ゆく
 暮れ早き師走の空の午後からは赤き横雲静かに流る
 今朝はパン農を愛する米好きの我も妥協し若者と住む
 津波あと全ての草木茫々と失くせし命の重きを教え
 「もつてのほか」先ずは肴で夫に出す旬の味香に目尻下げおり
 亡父植えし庭の柿の木鈴なりに鳥と分け合う晩秋に入る
 お隣りは孫が主体の冬囲い金鏈・鋸楽器のごとく
 追憶は絵のさまとなり浄化され喜々たる幼の声もわき来ぬ
 落書きのやうに残れる尻切れの歌の閃きいつ生まれむか
 右左平らに織れし打ち込みがこの年にして嬉しくなりぬ
 炉開きの赤き花活け茶の床はいよよ今日より冬に入りたり
 留守の間に届けられたる葱一束落葉も共に束ねられをり
 友送り門を出ながらまた話す言葉にごしつ門灯を消す
 雪起こし日本海に鳴りるしがやがて瓦に打ちて轟く
 老いたれば一日ひと日と思ふなり臆病なほど籠る寒き日

秋山 美喜雄
 岩橋 俊三
 小野 ハナ
 小野 眞智子
 駒田 文雄
 小柳 正平
 近藤 アキ
 近藤 トイ
 斎藤 経子
 佐藤 浩雄
 洪谷 カツ子
 高橋 一彦
 丹呉 ヤエ
 豊島 雪江
 平野 増江
 南雲 敏美
 星尾 美枝子
 本田 ヨセ
 渡辺 ルリ子
 渡辺 久仁子
 講師 阿部 昌彦

万葉の会 第七回「筑波の里 愛の歌百選」に渡辺久仁子さんが特別賞を受賞されました。

受賞作品を紹介します。

《特選》燃ゆるほどの思ひ出なければ六十年伴ひ生きて朝茶汲みふる

今月の俳壇

平成二十四年十二月句会抜粋

いつも煮る冬至南瓜も祖母の味
 冬ざれや物みな神が隠しをり
 千両が色ずき初めし暮早し
 一人居の夜長鼻唄口ずさむ
 北風や岩にきびしく波の花
 狛犬の居並ぶ顔や冬ざるる
 今年こそ今年こそはと年の暮
 日短やいで湯の里の帰り道
 冬ざれや明り灯して夫を待つ
 冬ざれや表も裏も箒がけ
 冬ざれの主なき畑やあわだち草
 晩年と言ふ坂道の落葉掃く
 枯れ尾花なびく裾野を風渡る
 学童の耳すっぽりと冬帽子
 晴間みて手早くすます冬囲
 嫁ぐ朝棗の花地も白し
 冬ざれや越後平野に一人立つ
 白鳥の鳴き声聞こえ仰ぐ空

長谷川 早苗
 天尾 壯一郎
 渡辺 テツ子
 篠原 キミエ
 早津 れい
 諏訪 明子
 高橋 秋荷
 石澤 敏子
 斎藤 鉄信
 幾野 重作
 豊島 雪江
 本田 ヨセ
 本 田 ヨセ
 松木 由紀
 渡辺 ルリ子
 長谷川 節子
 宮下 悦子
 小林 緑風
 清水 一雄

2月 生涯学習・スポーツイベント情報

1	金		ⓧ ヨガ（昼）、ピラティス（夜）
2	土	週末体験クラブ（子どもサミット遊びの発見）	
3	日		ⓧ 初心者スキー・スノーボード教室 ⓧ ジュニアビーチボール大会
4	月	休館日	休館日
5	火		ⓧ エアロビクス、藤寄あそび場
6	水		ⓧ 太極拳、亀代あそび場
7	木		ⓧ ピラティス（昼）、町民会館あそび場、ヨガ（夜）
8	金		ⓧ ヨガ（昼）、ピラティス（夜）
9	土	週末体験クラブ（太陽系を創ろう）	ⓧ フリースポーツ
10	日		ⓧ 初心者スキー・スノーボード教室
11	月・祝		ⓧ スポーツ少年団退団式
12	火	休館日	休館日
13	水		ⓧ 太極拳、亀代あそび場
14	木		ⓧ ピラティス（昼）、町民会館あそび場、ヨガ（夜）
15	金		ⓧ ヨガ（昼）、ピラティス（夜）
16	土	週末体験クラブ（春をさがそうバスの旅）	ミニバスケットボールウインターフェスティバルインSEIRO
17	日		ミニバスケットボールウインターフェスティバルインSEIRO
18	月	休館日	休館日
19	火		ⓧ エアロビクス、藤寄あそび場
20	水	移動図書館車（山小）	ⓧ 太極拳、亀代あそび場
21	木	移動図書館車（蓮小）	ⓧ ピラティス（昼）、町民会館あそび場、ヨガ（夜）
22	金	移動図書館車（亀小）	ⓧ ヨガ（昼）、ピラティス（夜）
23	土	週末体験クラブ（国際雪上サッカーフェスタに挑戦！） 移動図書館車（藤寄、東山、亀塚児童館）	ⓧ 国際雪上サッカーフェスタ（スポアイランド聖籠）
24	日	第22回ウイズコーラス発表会（文化会館）	町民親善バスケットボール大会
25	月	休館日	休館日
26	火	学校支援地域本部子どもサポーター交流会 ぐるんぱの部屋（図書館）	ⓧ エアロビクス、藤寄あそび場
27	水		ⓧ 太極拳、亀代あそび場
28	木	図書館休館日	ⓧ ピラティス（昼）、町民会館あそび場、ヨガ（夜）

図書館休館

※上記予定は変更する場合があります。詳しくは、町民会館（0254-27-2121）又はスポネットせいろう（0254-27-1515）へお問い合わせ下さい。

※ⓧは、「NPO法人スポネットせいろう」の略。

編集の窓から

2013年がスタートして、早くも1ヶ月がたちました。年越し寒波から始まり寒い毎日が続いています。忘年会やお正月でお酒を飲んだり、おいしい物を沢山食べる機会が多かったと思いますが体調はいかがでしたでしょうか？

私は昨年4月から社会教育課に配属され施設管理・運営にかかる用務を行いながら、スポーツ・文化団体・育成会などの方々が遠方に行かれる時に使用するマイクロバスの運転手もしています。皆様も憶えていると思うのですが昨年、群馬県の関越自動車道で運転手の居眠りが原因で7名の方が亡くなる大型バスの悲惨な事故がありました。運転するにあたって、バスは大勢の方々の命を預かっているのですから、安全運転・健康管理に充分に気をつけ安心してバスに乗車していただけるよう安全運転を心がけたいと思っています。

これから、まだまだ寒さも続きますが雪国でしかできない遊びもたくさんあるので楽しんで冬を乗り越えましょう。

（高橋 隼）

～言葉から広がるお話の世界～ クリスマスのおはなし会を開催しました

12月22日、町民会館和室でクリスマスのおはなし会を開催しました。3歳～10歳の子どもたちと保護者のみなさん、37人が参加しました。

ゲストとして、新潟おはなしの勉強会「まじよの会」の湯田敬子さんと谷澤夫企子さんをお招きし、クリスマスにぴったりのおはなしを語って頂きました。

ふしぎな音を奏でる『ハーモニーボール』を谷澤さんが鳴らし、おはなしのはじまり、はじまり。子どもたちは、おはなしの世界へ吸い込まれました。

呪文を唱えようと、おかゆがでてくる魔法のお鍋のおはなし『おいしいおかゆ』や、ろうそくの火をなかなか上手に消せない一家のおはなし『スヌークスさん一家』など不思議なおはなしを、絵のない語り(ストーリーテリング)で、楽しみました。耳で聞いて、想像することで楽しむ、おはなしの世界をみんなで味わいました。

最後はお待ちかねのサンタクロースの登場！サンタさんから1人1人にプレゼントが渡されました。嬉しそうな子どもたちの笑顔がとても印象的でした。



おはなしのプログラム

第1部(3歳～6歳向け)

- 「おいしいおかゆ」
本：『おはなしのろうそく1』
東京子ども図書館／編
- 「ねずみのすもう」
本：『日本のむかしばなし』
瀬田 貞二／文
- 「ひなどりとネコ」ミャンマーの昔話
本：『子どもに聞かせる 世界の民話』
矢崎 源九郎／編者
- 絵本『てぶくろ』ウクライナの民話
エフゲーニ・ラチョフ／え



第2部(6歳～10歳向け)

- 「スヌークスさん一家」
本：『おはなしのろうそく2』
東京子ども図書館／編
- 「三枚のお札」日本の昔話
本：『おはなしのろうそく5』
東京子ども図書館／編
- 「マッチ売りの少女」
本：『おはなしのろうそく23』
東京子ども図書館／編



図書館にありますのでぜひ、読んでみてください♪



私のくじらった1冊(1)

利用者のみなさまに寄稿して頂いた、心に残った本の感想文や、1冊の本を巡って起こった体験文を紹介します。

『100万回生きたねこ』(佐野洋子／著)

尾沢が丘 阿部美智子

私が小学生の頃に読んでいた大好きな絵本。大人になって、この絵本のことなど忘れていた。推理小説が好きで日々、手に取る本は推理小説ばかりだった。

月日が経ち、子どもが生まれ、母になり、久しぶりに子どもと図書館へ。

その時、絵本コーナーで『100万回生きたねこ』と再会した。

小学生のころは、佐野さんの絵が好きで、ストーリーはあまり気にしていなかった。大人になって読む『100万回生きたねこ』はストーリーの内容が濃く、子どもの頃にはわからなかった主人公のネコの愛の深さを知った時、涙がとまらなかった。

「かあちゃん、何故泣いているの？」読み終えて泣く私に、息子が不思議そうに尋ねた。

「大人になって、読むと涙が出るお話なんだよ。」人生に一度読み返したくなる絵本がある。息子にも大人になったら読み返してほしい。私が出会った魔法の1冊を。

みなさまの読書感想文・体験文を募集します！

心に残った小説や絵本、ノンフィクションなど、読んだときの気持ちを素直に書いてみませんか。詳しくは聖籠町立図書館 カウンターまで。